

グローバル株式厳選ファンド

愛称: セカイノヒカリ

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第1期(決算日2024年8月20日)

作成対象期間(2023年8月16日～2024年8月20日)

第1期末(2024年8月20日)	
基準価額	12,405円
純資産総額	16百万円
第1期	
騰落率	24.1%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス⇒「ファンド検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル株式厳選ファンド」は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、RMグローバル厳選株式マザーファンドを通じて、日本を含む先進国および新興国の株式への投資を行い、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行いました。

ここに、期中の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ: <https://www.resona-am.co.jp/>

＜運用報告書に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル: 0120-223351

(委託会社の営業日の午前9時～午後5時)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

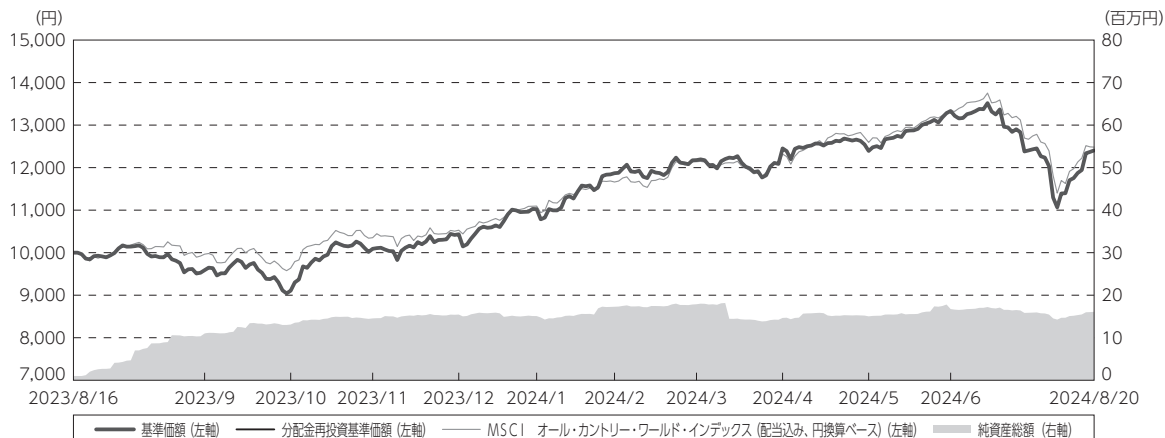


見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年8月16日～2024年8月20日)



設定時：10,000円

期 末：12,405円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 24.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。

(注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

米政策金利の引き下げ観測を受けて米景気軟着陸への期待が高まったことや、生成AIの急速な普及に伴う半導体関連株の業績拡大が支援材料となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

(2023年8月16日～2024年8月20日)

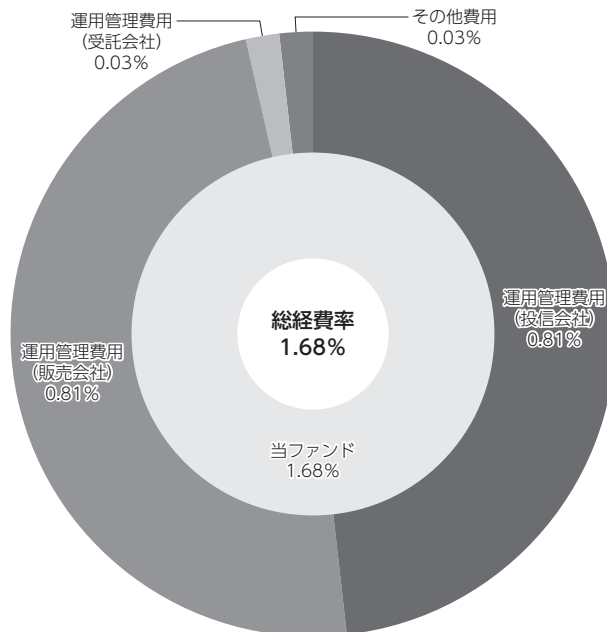
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	188	1.673	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(92)	(0.820)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(92)	(0.820)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.106	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(12)	(0.106)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.020	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.020)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	3	0.027	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	205	1.826	
期中の平均基準価額は、11,242円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

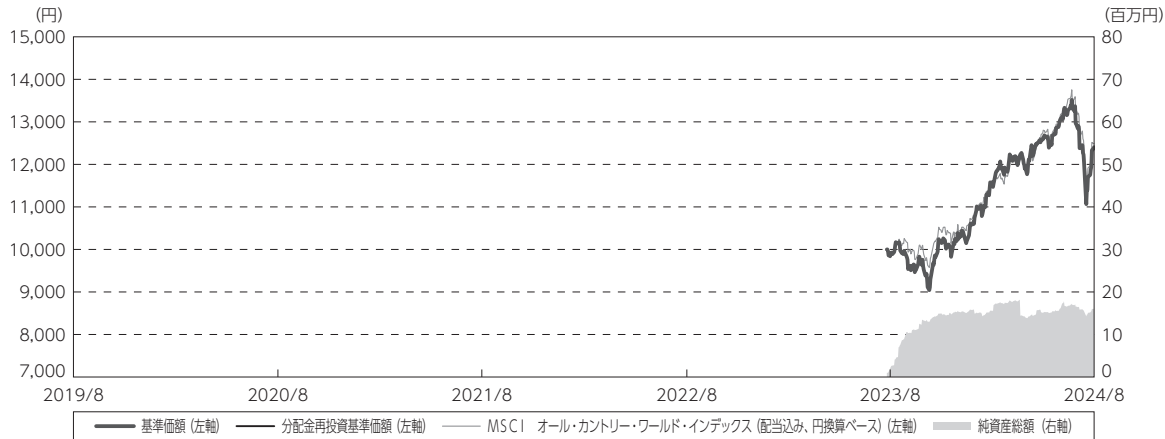
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年8月20日～2024年8月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2023年8月16日です。

	2023年8月16日 設定日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,405
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	24.1
MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) 騰落率 (%)	—	24.8
純資産総額 (百万円)	1	16

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年8月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。
- 参考指数は当ファンドの投資対象市場全般の動向を示す指標として参照するものです。参考指数を構成する銘柄に投資対象を制限することを目的とするものではありません。

投資環境

(2023年8月16日～2024年8月20日)

グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、設定時と比較して上昇しました。設定当初は、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ局面終了への期待感が下支えとなった一方、中東情勢の緊迫化などを受けて相場は不安定化する局面もみられました。期後半は、米国を中心に景気軟着陸への期待が高まったほか、AI（人工知能）関連銘柄を中心とした好決算が支援材料となり、グローバルの株式市場は上昇しました。期末にかけては、米国の景気後退が意識されたことで、大きく下落するなど一時的に不安定な動きとなりました。

為替市況

設定時と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対しては、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め策を継続する一方、日銀は金融緩和策を維持したことなどから、円安が進行しました。その後、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、再度円安が進行しました。期末にかけては、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRBによる利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が急速に進行しました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）がインフレ抑制姿勢を維持するなか、円安が進行しましたが、期末にかけては、日銀が追加利上げを実施したことなどから、円高ユーロ安が進行しました。

新興国地域において、中国では期を通して緩和的な金融政策を維持するなか、1米ドル＝7.2元を挟んだ動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年8月16日～2024年8月20日)

当ファンド

RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ アクソン・エンタープライズ（米国）

警察など法執行現場で使用される非致死性兵器の開発メーカーで、ワイヤー針射出式スタンガンであるテザー銃では独占的シェアを有しています。最近ではテザー銃での成功を足掛かりにボディカメラやクラウドサービスなどへ製品を拡大し、ボディカメラではすでに業界トップシェアを確立しています。また、各国の法執行機関のDX（デジタル技術を活用した業務プロセス改善）進展を支援するなど

海外展開も加速しており、法執行現場での安全性と透明性が求められるなか、さらなる成長が期待されています。足元まで好調な業績が続いていることを受けて、当期株価は堅調に推移しました。

■ モノリシック・パワー・システムズ（米国）

デジタル技術に応用したアナログIC（集積回路）の設計・開発を行う企業です。デジタル技術を使いアナログICを形成するという独自のコンセプトをもとに、大幅なコスト削減や製造および管理の効率化を可能としたことで、家電向けからデータセンターや車載向けへと付加価値の高い領域に製品提供の場を広げています。顧客企業が希望する性能や仕様に対して柔軟かつ迅速に試作品を提供し、早期の製品投入を支援できる体制が評価され、今後とも市場シェアの拡大が見込まれます。当期はAI（人工知能）サーバー向けへの売り上げ伸長が好感され、株価が上昇しました。

<マイナス要因>

■ アライン・テクノロジー（米国）

透明な樹脂製マウスピース型矯正装置を提供するパイオニア企業です。同社の矯正装置は既存の金属製矯正装置に対して外見の審美性や装着感で優位性があります。歯列矯正における標準が金属矯正からマウスピース矯正に移行する可能性が高まるなか、技術開発や膨大なデータ蓄積によって対応症例の拡張が進んでおり、さらなる業績成長が期待されています。業績は好調に推移していましたが、足元、主力市場である中国の景気後退や米国でのインフレ進展による消費意欲低下に伴う業績への懸念の強まりが、株価の重しとなりました。

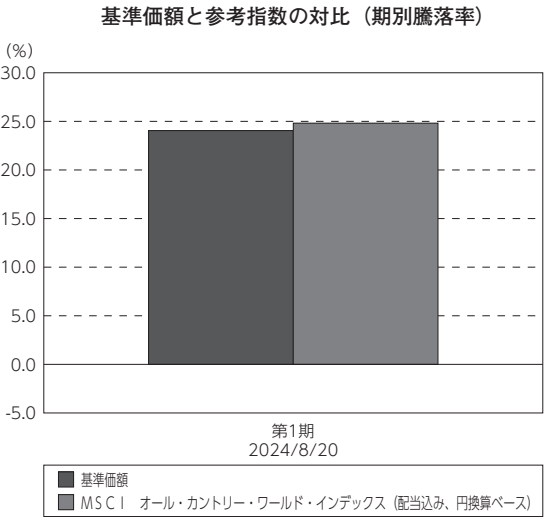
■ エムスリー（日本）

医療従事者向けの情報提供サイトの運営会社です。国内では90%超の医師が、また海外でも多数の医師が当サイトの会員となっています。医師との強い接点を活かして、薬剤を始めとする最新の医療情報を提供するなど多様なサービスを展開しています。医療現場での様々な非効率性解消を収益として取り込むとともに、製薬企業のDXのサポート役として成長が期待されています。当期はコロナ特需の反動による業績への影響が長引き株価は軟調となりましたが、特需剥落による業績の最悪期は過ぎたと判断し、また中長期での成長性に対する見方にも変化は無いことから、保有を継続しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年8月16日～2024年8月20日)

当ファンドはベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

(2023年8月16日～2024年8月20日)

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 1 期
	2023年8月16日～ 2024年8月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,405

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

米国ではインフレの鈍化が顕著となり、政策金利のピークアウト、景気軟着陸への期待からグローバル株式市場は上昇を続けていますが、足元では株価上昇に対する過熱感や米景気後退への懸念から大きく調整する局面もみられており、大統領選挙を控え、今後も不安定な動きが予想されます。

そうしたなか、短期的な相場動向には左右されず、独自の競争力評価のフレームワークを駆使してグローバルでの競争に今後も勝ち続ける企業を発掘、投資してまいります。また、地政学リスクを始めとした外部環境の変化を注視しながら、企業の現在および将来の競争力への影響を評価し、必要と判断すればポートフォリオの見直しを実施してまいります。

お知らせ

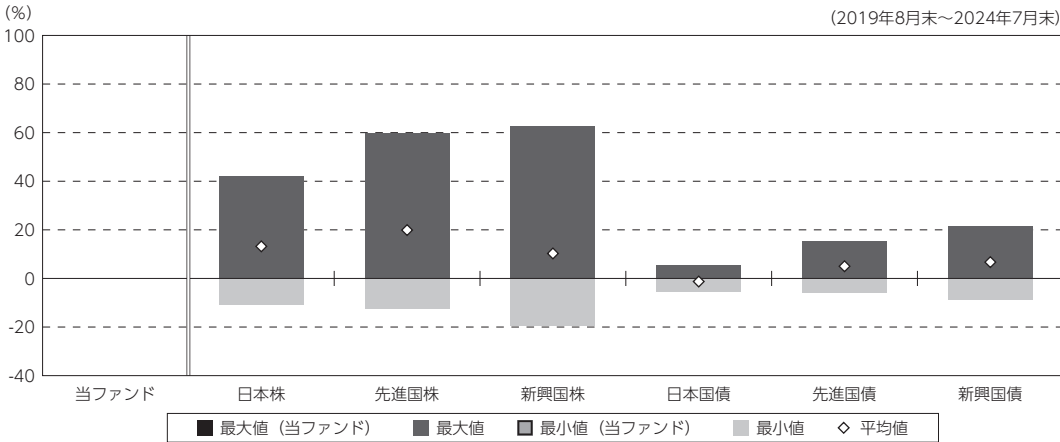
- ・「受益権の申込単位および価額」、「信託契約の一部解約」の各条文について、指定販売会社における投資者からの申込形態を考慮して誤解を招くことのない文言とするため、約款に所要の変更を行いました。（2024年1月17日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2023年8月16日から無期限です。	
運 用 方 針	日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル株式厳選ファンド	・ R Mグローバル厳選株式マザーファンドの受益証券
	R Mグローバル厳選株式マザーファンド	・ 国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
運 用 方 法	①主として、マザーファンド受益証券への投資を通じ、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 * D R（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。 ②経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。 ③マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
分 配 方 針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	－	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	－	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	－	13.2	19.9	10.3	△ 1.3	5.0	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 2019年8月から2024年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。
(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI 国債
先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年8月20日現在)

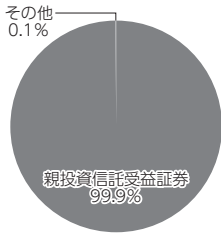
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
RMグローバル厳選株式マザーファンド	% 99.9
組入銘柄数	1銘柄

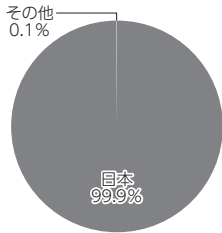
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

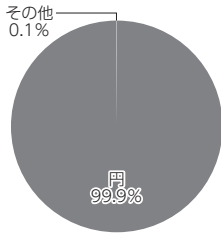
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第1期末
	2024年8月20日
純資産総額	16,087,930円
受益権総口数	12,968,770口
1万口当たり基準価額	12,405円

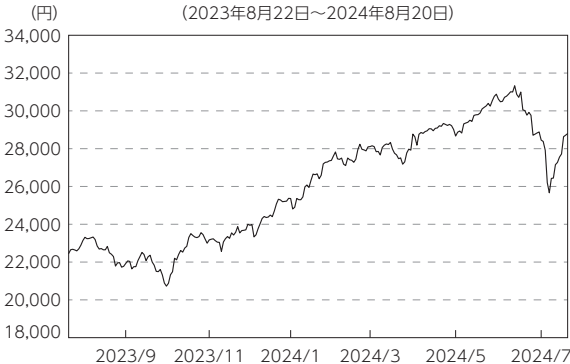
(注) 期中における追加設定元本額は21,805,957円、同解約元本額は9,837,187円です。

組入上位ファンドの概要

R M グローバル厳選株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年8月22日～2024年8月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年8月22日～2024年8月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	27 (27)	0.105 (0.105)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	5 (5)	0.020 (0.020)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	5 (5)	0.021 (0.021)
(保 管 の 他)	(0)	(0.000)
合 計	37	0.146
期中の平均基準価額は、25,905円です。		

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

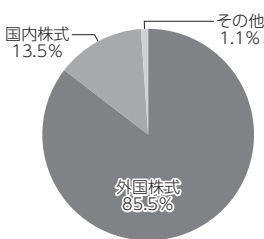
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率 %
1	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.8
2	エムスリー	サービス業	円	日本	3.7
3	RATIONAL AG	資本財	ユーロ	ドイツ	3.7
4	KING SLIDE WORKS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	新台湾ドル	台湾	3.7
5	NIKE INC -CL B	耐久消費財・アパレル	米ドル	アメリカ	3.6
6	HANNOVER RUECK SE	保険	ユーロ	ドイツ	3.5
7	MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.4
8	ALIGN TECHNOLOGY INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	3.4
9	キーエンス	電気機器	円	日本	3.3
10	WALT DISNEY CO/THE	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	3.3
組入銘柄数		30銘柄			

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

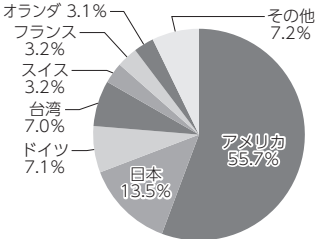
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

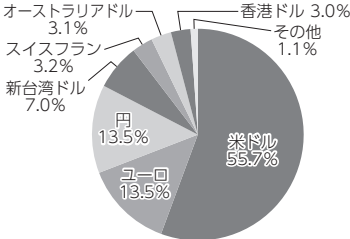
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位 10 銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは 2024 年 8 月 20 日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX、配当込み）

東証株価指数（TOPIX、配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。